

子山ホーム だより

第84号

※ ◎ひよこルームの夏休み

今年の夏はコロナの影響で残念ながら海開きがありませんでした。

でもひよこの子ども達は元気いっぱい！

8月に新しいお友達を迎えて、男の子4人・女の子2人にパワーアップしたひよこさん！

毎日元気いっぱい子山ホームにあるプールで遊んでいました♡♡

直接太陽を浴びて肌を小麦色にしている子ども達の楽しそうな声が園内に響いて、思わず私たちも
元気と笑顔をもらいました☆

また来年のこの季節に早く会いたいです！

今日はそんなひよこさん達のプールで遊ぶ写真をお見せします！

子ども達が楽しそうに過ごしている姿を見て、ぜひ笑顔になってください☆



※ひよこルームとは…2歳～未就学の子ども達と日中過ごす部屋です。今現在、年中さん、年長さんのみで、午前中は元気にこども園に通っています！！

とにかく…

園長 吉田 正浩

7月中旬に計報が届きました。私も当時は良く知っている子で元子山ホームの子でした。その子は、いろいろな課題を抱えていました。その子を本当に最後の最後まで、旅立った後も支え続けてくださったのは元子山ホームの職員さんであり卒園していった方でした。

これ以上多くは此処では語れませんが、子山ホームを出て行った後の方が人生は長く、もちろん良い事もあると思いますが、辛い事の方が多いかも知れません。今は一昔前と違って、卒園後のアフターケアに個人でなく、施設や関係団体や国や県も積極的に支援が出来る体制が整備されて来ています。

しかし、きつと一人で悩みを抱えて、一人で全てを完結させようとする傾向があるのかも知れません。それで最悪の結果を出してしまうとするならば…

とにかく、誰でも良いから人と話をしてください！ ホームに連絡してください！話を聴きます！聴かせて下さい！とにかく生きることに！生きていれば状況は変わります。とにかく、生きてください！！

今回は大分しんみりした内容になりましたが、これが本音です。さてこの後は、私も心から尊敬する引退された先輩のお話を紹介させて頂いて今回の挨拶に代えさせていただきます。

皆さまお身体ご自愛ください！！

年を経るといふこと

主任保母 米元 わか

私はずむ心で初めて子山ホームの門をくぐった日から数えて18回目の夏を今迎えています。18年の歳月は、まだおしめをし言葉もままならない2歳で入所した幼児をすっかり大人の顔に変え、ぎこちないスーツ姿で成人式に参加する程に成長させます。子ども達が卒業の記念樹に植えた、たつた1メートルの桜の苗木も見上げる程の太木に育って、毎年の入学式の頃になると満開の花で私達の目を楽ませてくれるようになります。また子山ホームのある小高い山の上から畑や森の緑を通してキラキラ輝いていた青い海も、今では家々の屋根の向こうに静かに横たわる景色へと変えました。

若い頃、大人になるといふことは、幼い頃の無邪気さや純真さ、素直さ、一途さ等、心の大切な物を多く失うばかりと大人になる自分に不安を覚えていた時期があります。

しかし子どもと共に時を過ごした年を経てきた今は、年を重ねる事は決して失うばかりでなく、得ることも多くあったとしみじみ思えるようになりました。

保母になったばかりの頃はとにかくハリキッテいて怖いもの知らずでした。子ども達にやるべき事はきっちりやらせ、悪い事は断固として許さず、曖昧な事ははっきりする事が仕事と信じてやっていました。それがどんなに子ども達の気持ちを追いつめているかという事には全く気づきませんでした。

そう言うことが少しずつわかるようになってきたのは、子ども達の問題行動に悩まされたり、何回も何回も裏切られたり、子どもがこぶしをぶるぶるふるわせて今にも殴られるのではないかと思えるような言い合いを繰り返したりといった辛い経験を多くした後の事で、全てが順調に進んでいた時には思いも及ばないことでした。子ども達の行動の大きな部分に大人の姿勢がかかわっていて子どもは満

たされない気持ちや不安や語れない言葉を行動で表しているものであり、子ども達の心の訴えであると理解できるようになるまでに、それだけの時間や経験が必要だったのです。

十数年を経た今は、どうでもいいと思える事が沢山増えました。余計なものを一つ一つ切り捨ててゆくこと、結局保母として大切な事は、一人一人の子ども達の全てを受容する事、生きる基本である衣食住を物心両面でしっかりと満たしてやる事に尽きるように思います。子ども達は子ども自身も伸びる力を持っています。人として生きられる土台がしっかり出来た時に子ども達は自分の持っている力を発揮出来るようになります。私達の為すべく事は、暖かく大きく子どもを受け入れてやる事、生活の土台を築いてやる事と子どもが教えてくれました。余計なものを切り捨てることで本当に大切なものが何であるかが、見えてきたような気がします。

ある先生が施設は港であって欲しいとおっしゃいました。子ども達が子山ホームや我々職員を土台として社会へ巣立ち、辛い時や寂しい時、寂しい時や嬉しい時も、いつでも帰れる場所があると思えるような港になっていると願います。そして子山ホームの創成期を支えてきた多くの人達の苦勞の上に今の子山ホームがあり、それを次代に繋げてゆく事が私達の役目であると痛感します。

これから十数年を経た時に、いつもにこにこ笑っていて、やさしさのかたまりのようなおばあちゃん保母が一人くらい子山ホームにいてくれたら嬉しいものだと思密かに思っているのです。

社会福祉の道
四十一年の足跡を顧みて
社会福祉法人
チルドレンス・パラダイスより引用
平成7(1995)年 12月20日
第一刷発行



SPORTS FESTIVAL IN SUMMER !



8月11日に小学生ソフトボール交流試合、8月22日に中学生と高校生の野球大会が行われました。

結果は、子山ソフト・子山中高生チーム共に優勝！

日頃の練習の成果が現れていました！

今回は大会に参加した6年生と高校3年生、そして応援に来た2年目の保育士に感想を教えてくださいました！

ソフトボール大会などお母さんやおばあちゃんが来てくれて嬉しかったです。ファーストを初めてやってみて、ボールを取れるか緊張したけどピッチャーが全部三振取ってくれたので、嬉しかったです。ファーストにボールがこなくてつまんなかったけど（笑）でも優勝できて嬉しかったです！中学校に行っても頑張ります！

小6 K・T

今まで何回か大会に出ていたけど優勝したことがなく今年が最後だったので、優勝できてよかったです。また、キャプテンも務めさせてもらい、バタバタした時もありましたが監督や仲間・マネージャー全員が1つになって戦えたから優勝に繋がったと思います。来年、連覇がかかっているの、頑張りたいです。そして、調理の方や園長先生など色々ご協力していただきありがとうございました。

高3キャプテン K・S

スポーツを通じて、子どもの努力や友情に満ち溢れた世界を見せてもらいました。いつもホームで少しやんちゃな（笑）小学生が、監督の指示にしっかり耳を傾けたり、相手のチームに礼儀正しく接している姿を見て、私の知らない所でこんなに成長しているんだ！と感じた1日でした。これからも子山ソフト頑張れ！また見に行きたいです。子ども達、監督の方々、お疲れ様でした！良い試合をありがとうございます！

調理さんのお弁当がとても美味しかったです♡♡

保育士 高山 珠緒

手に汗を握るような試合でした！！練習を多く近くで見守ることは叶いませんでしたが、当日の子ども達を見るとしっかり練習して団結している様子に感動しました。普段忙しい中高生が少ない時間の中集まって、頑張っている姿がよかったです。キャプテンを始め高校3年生の凛とした姿勢が印象的でした。下の子達もその背中を見ています。来年もぜひ応援に行きたいです！みなさんお疲れ様でした！感動的な試合をどうもありがとうございました。

今度は私も試合に参加したいな！

保育士 松田 愛羅

今年の夏。子山ホームもいつもと違う夏を迎えていました。

このコロナ禍で学校休校に伴う夏休みの短縮。恒例の夏のキャンプは中止。海水浴場も、公共のプールも閉鎖。外出も制限。中高生にとっては部活の大会も中止。中3・高3の子ども達にとっては、3年間積み重ねてきたものを発揮出来ない悔しい最後の夏にもなりました。

そんな中開催されたのが千葉県独自の高校野球夏の大会。3年生になってエースまで上り詰めたK君。野球が大好きで毎日陽が暮れるまで練習。くたくたになって帰ってくると、時には日々の生活でのやるべきことが出来ず保育士とバトル。それでも温かく見守ってあげている保育士や指導員。たくさんの方々に支えられながら8月4日、最後の夏が始まりました。球場は、千葉ZOZOマリンスタジアム。雲一つない夏のじりじりと照りつける太陽の下、マウンド上に立つ背番号1のK君は、伸びのあるストレートにスライダーとチェンジアップを駆使して、回を重ねるごとに躍動、輝きを増し相手に真っ向勝負。一方で観客制限がある中、応援に行けない子ども達、職員はテレビの千葉テレビの実況放送こしに必死に声援。そして完封勝利。続く2回戦、3回戦もK君の好投もありチームは勝利。日に日に増す子山ホームでのK君への期待と子ども達の憧れ。子山ホームがK君一色になった瞬間でもありました。

そして、4回戦。ここまで防御力0のK君も連投による球数制限と前の試合で左手に受けたボールの怪我の影響もありベンチスタート。チームは回を重ねるごとに失点を重ねついにマウンドへ。しかし、疲れと痛みをこらえ必死に投げるK君も、この流れを抑えることが出来ず連打を浴び降板。大差でK君の夏は終わってしまいました。

この夏K君の残したものの。チームの大黒柱戦い、苦難の中でも必死に勝負し、その姿勢が子山ホームの子ども達に夢と希望を与えてくれました。そして、子山ホームのすべての人に感動を与えてくれました。ありがとう。

K君の進路希望は、大学に進学し経営情報を学びながら大好きな野球を続けること。是非夢を叶えてほしいと思います。頑張れK君。

中高生野球部監督 是枝 満秋

8/2

超合同キャンプ

キャンプにさんかしました。まずじびきあみをやり、たくさん魚をとりました。サメもいてびっくりしました。昼はとれた魚をたべておいしかったです。夕方には、カレーをつくりたべました。夜にはきもだめしをやりけっこうこわかったです。またキャンプ、たのしみたいです。きもだめしが一番たのしかったですけど、いろいろなひとが走ってきてもうきがあるなどおもいました。

小4 Y・H

楽しかったことは、海で遊び地引網をして、カレーを作って肝試しもしました。海では、カンちゃん、グッチ、ケンコにワッチにぼこぼこにされたけど、とてもいい思い出になりました。カレーをみんなで作りとても美味しかったです。肝試しでは、みんなをおどかしてびっくりさせました。とても楽しかったです。

中3 A・H

今年で最後のキャンプでしたが、楽しく過ごすことができました。一番楽しかったのは肝試しです。みんなとやれてとても面白かったです。

来年はいませんが、これから行われるキャンプで充実したキャンプがあればいいなと思います。最後のキャンプも、とても楽しかったです。機会があればまたやりたいです。

高3 M・Y



このようなコロナ禍の中、例年行っていたキャンプを行う事は厳しいと考え、ただどうにか試行錯誤して出来る事はないかと考えました。

当日は午前中に元職員からの招待で地曳網に参加させて頂き沢山の魚に子ども達も興奮していました。

また海にもなかなか行けなかったので久々の海にも興奮し思いっきり遊ぶことができました。

午後は子山に帰ってきて普段ソフボールを行っているグラウンドにてカレー作りを行い、キャンプファイヤーも行いました。

例年のキャンプですと中高生は登山に行くため調理や火起こしを行う事はないですが、小学生の頃からいた子達は久しぶりの火起こしなどを行い小学生もそれに見習い調理や火起こしを行いました。

最後に近くのトンネルを利用して肝試しを行い今年のキャンプを終えました。

小学生から高校生までが一緒になって遊んだり調理をしました。が、このような状況でなければ行えなかったとも思えますし、コロナ禍の中でも自粛ばかりではなくその中でも工夫して楽しめたのは、また良い思い出になれたかと思えます。

児童指導員 和田 直樹

7/7

七夕

7月7日七夕の日、その日に向けて指導員さんが願い事を叶えるために笹を子山ホームに採って来てくれました。そこに書かれた素敵な願い事をちよつと覗いてみましょう。

職員…さすが

「みんなが笑顔で暮らせるように」
「みんなが元気で過ごせますように」
「コロナが早く終わりますように」
ともかく皆の幸せを願っていました。

子ども達のお願い事は？

- ・コロナがおさまりますように
- ・スイッチが買えますように
- ・ソフトがうまくなりますように
- ・マラソン大会上位になりますように
- ・コロナにかかりませんように
- ・身長が180cmになりますように
- ・キャッチャーになれますように
- ・お金持ちになりますように
- ・などなど現実的でした！

この子山ホームだよりを見ている方々はどんなお願い事をしましたか？



8/14

カヌー体験

カヌーたいけんをしました。ぬれただけ、とてもたのしかったです。さいこうのいちにちでした。

小3 Y・H

かぬーをやりました。

ひやけがなおってきたのにまたひやけをしました。でもたのしかったです。またこんど、やりたいとおもいました。

小3 Y・T



8/29

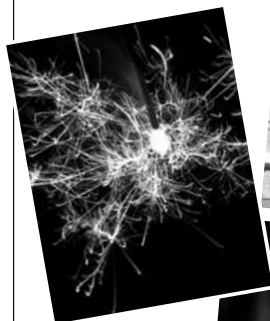
こやままつり
2020

こやまつりにさんかしました。ストラックアウトをしました。それいがいにもやりたいみたいなのがあつて、たのしかったです。ごはんもおいしかったです。またやりたいとおもいました。

小6 N・O

なつにこやまつりをしました。ストラックアウトときんぎよくいのみずふうせんがあつてとてもたのしかったです。いちばんたのしかったことはストラックアウトです。ボールをうまくなげることができました。ごはんはなにもたべませんでした。つぎもまたやりたいです。

小3 S・K



10/3

エコバック作り

エコバック作り楽しかったです。最初かいたときに何のやさいの絵にしようかなとまよったけど、まよって、結局ピーマンの絵にしました。好きでかきやすかったです。インクをぬったときは、きんちようしたけど、楽しかった。インクをぬるときに糸がついていて、オリジナルのがらになつていった。さいしよびつくりしたけど、オリジナルのものになつてよかったです。お昼もすごくおいしくて、ポジクルの人とお話しながら食べることができました。

小5 H・Y

エコバックを作らせてもらってありがとうございました。とても楽しかったです。大切に使いたいと思います。緑色のインクを使ってバックに色をつけるのが、一番楽しかったです。ほかに、自分で野菜のイラストをかくのが楽しかったです。なすとか、トマトをかきました。

小6 S・H



高校生会・中学生会

それぞれ、子ども達の有志によって月一回開いている、子山ホームの子ども達による会議です。大人に聞きたいことであつたり、話し合いたい約束事などについて、話し合い考えを出し合っています！

高校生会

令和2年度9月26日(土)に、高校生発案による、「高校生と保育士による意見交換会」が行われました。

高校3年のR・TとK・Sが中心となり、自分たちの気持ちを顔と顔を合わせて伝えられる場を設けたことには、とても大きな意味があります。自分たちの施設を子どもたちが主体となり、自分たちの言動でより良い環境にしていくことが、施設の理想とする形なのだと思います。会の始めは高校生たちも中々言葉が出てこなかったものの、徐々に慣れてきてからは日ごろの不満や要望、改善してほしいところなどを互いに伝え合うことが出来ました。今後も続けてほしいものです。

児童指導員 池口 豊

「得意・不得意があつてもプロはそこに差を作つてはいけない」これが今回高校生会を通じてマージナル・マンである彼らに教わつたことです。一人一人生き方も環境も異なる中育つたのですから、思考も変わります。高校生たちは人間だからこそ用いる事の出来る言葉を通じて想いを伝えてくれました。子どもの想いを受け止めると同時に、ここまでしっかりとした姿を見せてくれたことに胸を強く打たれました。途中お互い感情が高まる場面もありましたが、それでも最後まで言葉を贈りあえたのは、彼等がくれた誠実さがあつたおかげだと思ひます。このような場を自らの意思で計画しやり遂げた高校生に拍手です。すごい！そしてありがとう。

保育士 高山 珠緒

中学生会

今回、夏に行われた中学生会では、子ども達プレゼンのもと、映画鑑賞が行われました。

ただ観るだけではなく、一人一人がどうしてこの映画を見たいのかというプレゼンから始まり、見た後どんな気持ちになったのか、どう思ったのかという終わりに至るまで、大人顔負けのやり取りを繰り広げていました。様々な考えがある中で、一つのものに対して、みんなで一緒に話し合いをしたり、鑑賞したり、いつものホームの生活とは違う雰囲気を感じながらも大事にしていきたいと思ひます。

児童指導員 佐藤 和好



ぼくは、世界をかえた男の映画みて黒人差別などをしないようにしようと思ひました。そして、差別など、こまっっている人などがいたら、ほうっておかずにつけるのがわかりました。ぼくは、この映画を他の人にも見てほしいと思ひます。そして、みたあとにどうかんじるのかをききたいです。

中1 R・T

8/7 安全委員会6周年

安全委員会も6周年！！今回の式典は、コロナウイルスの影響もあり、外で行いました。

外部委員の先生、子山ホームの子ども達、大人の方たち、これからもよろしくお願いいたします。



15歳の誓い

ぼくは社会人になったら、あんていした場所ではたきたいです。そして、たくさんのゲームをやりたいです。これからたくさんの困難があると思うけど、乗り越えていきたいです。

中3 K・Y



15歳の誓いとは…15歳の節目に自身の将来へ手紙を書き、神様に誓いを立てるものです

2019 年度決算

【収 入】

(単位：円)

摘 要	金 額	備 考
前年度繰越金	1,677,402	
後援会費	1,683,830	
寄付金	280,777	バザー
卒園生返金	110,000	
雑収入	7	利息
合 計	3,752,016	

(単位：円)

2019 年度 決算報告	収入済額	3,752,016
	支出済額	1,534,876
	差引残高	2,217,140

【支 出】

(単位：円)

摘 要	金 額	備 考
いすみキッズ活動資金	4,000	
ミルキーズ活動資金	66,200	
オールいすみ活動資金	252,650	
サッカーユニホーム代	149,500	
卒園生奨学金返済	630,600	
卒園生生活費貸付金	180,000	
卒園生自立支援資金	250,000	
振込手数料	550	
雑費	1,376	お茶菓子代
合 計	1,534,876	

2020年度 第一回子山ホーム後援会・幹事会

2019 年度 (平成 31 年・令和 1 年) の後援会・会員の活動報告

- ・春の進級会参加：一昨年度3月21日春分の日。彼岸の中日にあたり出席しづらいと言う声があり、2018年度より第4週の土曜日へ変更して実施した。
- ・秋のバザー協力：いすみ市農村改善支援センターにて実施してきたが、抽選等により必ず確保できる状況ではなく、2019年度より東海小学校体育館をお借りして実施、今後も東海小学校、体育館をお借りして実施していく。
- ・クリスマス会参加：管理棟改修工事が終了し、そのお披露目も含めて実施予定としていたが参加人数や内容を考えるとやはり狭く、困っていたところ、東海小学校先生方、地域の皆様の協力で急遽、東海小学校体育館を貸していただけることになり実施。一昨年同様に午前中は恒例のサンタバイクの訪問のため、時間に余裕を持たせるため夕方より一部：礼拝 二部：ディナーとしてその間ミュージックバル等披露、学校の先生方、日頃よりお世話になっている方々との楽しい一時となった、そのディナーの内容も栄養士・調理員での斬新なアイデアによる新メニューでとても好評であった。
- ・後援会会費賛助依頼活動：子山ホームだより配布時に後援会会費振込用紙を同封、年3回発行中2回同封、その作業は中高生に声をかけ有志で作業を行っている。
- ・子ども活動費として、ミュージカル劇団いすみっこ・ミルキーエンジェルス(地域女子ソフトボールクラブ)、オールいすみ(地域男子ソフトボールクラブ)会費補助等々。オールいすみにおいては全国大会・関東大会等にも出場。
- ・卒園自立していく子ども達への自立支援金の補助(2019年度は3名の卒園生：グループホーム入所からの就職自立2名、家庭引き取りでの専門学校進学1名)を行いました。また卒園生本人が借りた奨学金の返済支援の継続中だが2021年3月で返済終了となる。それとは別に生活苦によりお金に困った卒園生2名への資金援助1名は順調に返済中、もう1名は滞っている。
- ・荒井さんの定期的な声掛けにより融資の方々で桜の剪定を行いました。

2020 年度 (令和 2 年) の後援会・会員の活動計画

- ・今年度は通路の改修工事への資金援助を行いたい。
- ・天候不良等で遅れていた衣料庫の改修工事が無事に終了しました。最終的に建築士末木さんのアイデアから、各9ホームに色を決めてもらい浅香夫妻・東昭建設さんの協力により融資の子ども達が壁面に色を塗りました。世界で1つだけの素晴らしい衣料庫が出来上がりました。名称も衣料庫から衣料庫兼多目的ホールとしました。
- ・2019年度1月頃より新型コロナウイルスにより、生活様式が一変してしまいました。2月の終わりから2020年度5月後半まで、小中高・こども園の臨時休校が続きました。これにより学校行事卒業式・入学式も縮小して行われました。子山ホームの一大イベントの一つで子ども達も職員も楽しみにしていたホーム旅行は中止にしました。そのため、今後もコロナの状況をみて、行事においては縮小、延期、中止せざるをえません。その中で、出来る行事等の支援はもちろんのこと、こちらもコロナの状況を見ながらになります。引き津卯月、桜の剪定作業、あじさいの植え付けは少しずつ進んでいます。しかし菜の花の種まき等については滞っている状況ではありますが、折を見て環境整備を援助したい。
- ・今年度も子ども達の個性を伸ばす様々な活動の援助を続けていきたい。年2回卒園生へふるさと便を贈る活動(子山ふる里家計画)や卒園後に困難を抱えた卒園生に対しては支援・援助(奨学金の返済援助：2021年3月終了予定)、また卒園生の死亡に関する葬儀の支援(要相談)や遺骨をお墓に埋葬することについては今後とも子山ホームとして継続していきたい。
- ・今年度は小学生・中学生においては夏休みが縮小されたのだが、小学生向けにカヌー体験を夷隅川付近で行うことができた。(カヌーは田井さんから借りたもの) また、合同キャンプとして一日だけデイキャンプを小学生から高校生までの有志で行った。午前中は元職員の方の招待により一宮海岸において地引網の体験もさせて頂いた。これには幼児さんも参加させて頂き、楽しい経験となった。その他コロナ対策をした上で2~4施設が集まり小学生ソフトボール大会(子山Aチーム優勝) 中学生野球大会(子山ホーム優勝) など短い休みの中で工夫を凝らしての大会や行事を行った。その中で子山ホームの野球のユニフォームなのですが、かれこれ15年以上前に揃えたもので当時小学生ソフトボールと中学生の野球のユニフォームと同時に一新させて頂いたものです。この間小学生ソフトボールのユニフォームは2回ほどバージョンアップさせてもらいました。今回の大会では、ボロボロなため5、6年前に深堀地区で頂いたユニフォームを代用して出場しました。今回、交流試合とは言え優勝して結果を出したこと踏まえて今年度は中学生の野球ユニフォームの購入補助を考えてあげたい。
- ・レインボー(30歳)くらいまで、卒園生との食事の機会の設定(最低でも年に1回)



子山ホームでは子ども達はサッカーも頑張っており、後援会から支援していただきサッカーのユニフォームを購入することができました。

デザインは子山ホームの桜、海、山をイメージして作ったとのことでした。

大切にに使わせていただきます。ありがとうございます！

子山ホーム
バザー

コロナウイルスの影響により、子山ホームバザーは今年度開催いたしませんでしたが、来年度に向けてバザー用品のご寄付は随時受け付けております。ご家庭で眠っている品物がございましたらぜひご連絡ください！

☎0470-62-2325

●チャリティーコーナー

敬称略、順不同（令和2年6月25日～令和2年10月12日）

個 人			団 体	
藍野悦子	山本有理絵	山下 弘	子山ホーム後援会	港和防災設備
長谷川政二	田中	渋谷	明治乳業	タイガーマスク基金
小林	浅香良太	田中	みのりの会	(株)トータルデザインセン
柏田隆徳	中川侑暉	渡邊	大美屋	ター
山田恵美子	庄司		KIKUYA 千葉店	土屋鍾文堂
坂東君子	堀米		天徳寺	レストラン チョイス
末木章介	林		株式会社	マームジャパン株式会社
巨人の星	伊藤綱吉		エナザ・インターナショナル	カフェニ郷
左草 哲	金城		株式会社チュチュアンナ	せきとく
石川雅彰	加賀田		フィリップモリス	マンゾクテクニカル
山本恆太	門司 一徹		東昭建設	おもちゃの神様
菅谷陽二	石川浩一		せきとく	屋久島茶生産組合
原 秀子	椎名真弓		いすみ市 福祉課	セカンドハーベスト
ツノカクシ	新山ふじ子		NPO法人 上総小農苑	協同組合千葉
道家尚巳	渡辺弓子		一般財団法人 みらいこ	千葉県信用組合
小山	匿名希望		ども財団	一般社団法人 Peace maker
河野千壽子	宮坂道江		ソニー生命	佐川急便株式会社

※ご寄付等を頂いた方で、お名前の記入漏れ、誤字がございましたらおゆるし下さい。

ボランティアの方々 (敬称略)

ボランティア 令和2年7月2日～令和2年10月1日までの間で活動していただいた方々です。

・ブリッジフォースマイル ・POSYCLE ・床屋：ヘアークラブヤノ ・(株)ソニー生命

◆◆令和2年度後援会名簿◆◆

(令和2年6月14日～
9月31日)

梶永 光洋	尾崎 二郎	萩原 博	マームジャパン(株)	(株)レ・ソリゾ
西村 清	吉田 謙	小安 和夫	(株)佐野屋呉服店	生活クラブ生活協同組合
三枝 美佐子	長谷川 政二	三上 雄二	(株)エナザ・インターナショナル	大美屋菓子舗
岡田 泰子	浅香 良太	齋藤 正敏	(有)キミヅカ	タカナン防水
高山 義則	浅香 正子	白井 善治	小羊保育園	吉野新聞上総東店
小路 広美	井爪 康雄	森田 雄司	(株)房給・総合環境センター	(有)サンキュー印刷
松井 秀文	井爪 よし子	榎沢 良彦	医療法人社団 嗣業の会	道灌山学園保育福祉専門学校
美野田 哲夫	阿部 元之	安井 瑞江	外房こどもクリニック	社会福祉法人 生活クラブ
中西 昭満	渡辺 俊夫	檜原 孝俊	(株)東昭建設	
川名 正一	高山 直俊	檜原 中子	医療法人社団 謙聖会	
福田 辰男	森山 邦代	吉野 正行	吉田外科内科	
唐澤 忠	森山 幹夫	松崎 宣哉	(株)中善商店	
安井 利雄	石野 正行	莊司 洋樹	インテリアショップ 木戸	
横山 賢治	山本 康子	浮 節子	(有)仲佐屋薬局	
宮野 郁子	神定 洋子	池田 徹	(株)房給	
麻生 剛	吉野 寿	赤間 直美	成田国際福祉専門学校	
山野 史子	阿部 秀雄	梶永 光洋	(株)なのはな	
浅野 功嗣	新山 ふじ子		斉藤クリニック	
黒木 春郎	小林 順子			



※上記の名簿は令和2年6月14日～9月31日までに納入された方で、それ以降、納入された方は記載されていません。

※高額のご寄附の場合は、お手数ですが子山ホームまで連絡を頂きたいと思ひます。

▽編集後記▽

子山ホームから一時離れた期間を含めると、私自身子山ホームでお世話になって6年目になるが、少しずつ卒園した子ども達との交流も増え、考えさせられることが多くなってきました。進学して悩んだり、就職先で悩んだり、施設を出た後も多くの子ども達が様々な姿で考える様子を見て、微力ながらも子ども達の力になれていれば幸いです。だなどと感じています。

私自身もそうですが、知らない事の方が世の中にはたくさんあります。その場で縮こまることなく、ぜひ気になることにどんどんチャレンジしてくれればいいなと思っています。

△K・S▽

子山ホームだより 第84号

発行日：令和2年11月13日

社会福祉法人

チルドレン・パラダイス

児童養護施設 子山ホーム

千葉県いすみ市深堀685番地

TEL 0470-62-2325

FAX 0470-62-8828

Eメール info@h-koyama.or.jp

http://www.h-koyama.or.jp/